

1月6日：不動産、建設セクターに買いが集中し、VN指数は反発

不動産、建設セクターに買いが集中し、VN指数は反発した。

ホーチミン市場のVN指数は0.4%高の1,528.57ポイントで取引を終えた。

一方、ハノイ市場のHNX指数は0.94%高の484.89ポイントで引けた。

出来高は昨日に続き増加し、売買高は前日比8%増の約13億株、売買代金は前日比7%増の39兆4,000億ドン（17億米ドル）となった。

「現在 投資家の利益確定売りは株式市場の重しとなっており、VN指数は下落する可能性がある。だが短期的に上値を試す状態にあり、VN指数が1,510ポイント台に下落すればすぐに押し目買いが入るだろうと予想される」（ベトドラゴン証券の株式アナリスト Phuong Nguyen 氏、デイリーレポートにて）

「だが銘柄選別が進み、マーケットは上昇した」（同氏）

不動産、建設セクターの銘柄はこの日最も買われ、マーケット全体を支えた。

ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）は午後にわずかに下げたが、VN指数の上昇の牽引役であった。ビンググループは4.5%高、ビンホームズは1.6%高とそれぞれ上昇した。

中小型株の多くが堅調な値動きを見せた。ダットサイングループ（DXG）、FLCグループ（FLC）、アンズオンタオディエン不動産（HAR）、第2工業都市開発（D2D）、カインホアランド不動産（KHG）、557不動産（NBB）、TTC不動産（SCR）はそれぞれ5~7%上昇した。

ハノイ市場では建設株の上昇が目立った。主な上昇銘柄にはタインダット投資開発（DTD）、タンロン（TTL）、第25ビナコネックス建設（VCC）が含まれ、それぞれ9~10%上昇した。

「マーケットはおおむね上昇トレンドだが、投資家はしばらく落ち着いて自身のポートフォリオを見直すのが良いだろう」（同氏）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。